# 幻の鈴原糯を守り育てる

## 平成26年度鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰

農林水産業を営み、その経営が特に優秀と認められる個人および法人を表彰する、平成26年度鳥取県優秀経営農林水産業者表彰に、企業組合日野町農産物加工所「大夢多夢」（松本郁子代表理事）が選ばれ、10月15日、鳥取県知事公邸で表彰式が行われました。

大夢多夢は、平成21年にJA女性会員有志の企業活動により設立されました。地域で長年栽培されていたが栽培面積が減少し、絶滅寸前といわれたもち米の品種である「鈴原糯」に着目し、その特色を生かした餅やおこわの製造販売を行ってきました。

鈴原糯の特長である伸びの良さやキメの細かさを生かした商品開発を行ってきた点や、県の奨励品種から外れかけていた鈴原糯を、地域に根付いてきた鈴原糯で地域を更に盛り上げたいという思いから、組織として種子生産活動を平成26年度から始めた点などが認められました。そのほかにも、みそや菓子、総菜などの製造を行い、地産地消の推進、特産品振興に大きく貢献してきました。

表彰を受け、松本さんは「これまでの活動が認められうれしい。これからも町の特産品として鈴原糯を守り育てていきたい」と話しました。

大夢多夢では、平成25年に、金持神社にあやかった「金運永餅」を開発・販売し、町内外から好評を得ています。名称の「大夢多夢」に込められた、女性たちの大きな夢と多くの夢を実現したいという思いのもと、今後のさらなる活動が期待されます。

笑顔を見せる松本代表理事（右）と川上洋子さん

### 平成 26 年度金婚式

# おしどり夫婦２３組に記念品贈呈

今年、結婚 50 周年を迎えられた町内の夫婦に、11 月 5 日、金婚の記念品を贈呈しました。今年の該当者は次の皆さんです。（五十音順・敬称略）

青砥昭雄・禮子（福長）、稲田詔人・喜代子（上菅）、稲田英幸・富美子（福長）、遠藤静流・文子（根雨）、大下宏・恵代（舟場）、甲斐弘文・富有子（根雨）、川上和彦・洋子（本郷）、小藤忠志・美佐子（黒坂）、近藤進・亢子（根雨）、佐々木良市・早苗（舟場）、柴田三千明・美紀子（根雨）、清水計邑・志津子（上菅）、瀬田剛・邑恵（安原）、谷口暢良・美知子（黒坂）、長尾宏道・澄子（下黒坂）、中原正明・かめ子（下榎）、長谷川好廣・茂子（三土）、福田和也・廣江（黒坂）、真壁公夫・富貴枝（根雨）、松本榮・信子（高尾）、松本隼美・富紀子（根雨）、三好廉三・瑞枝（舟場）、若杉健三・慶子（野田）

# 昔ながらの製法でたたらを学び、親しむ

## 『復活！平成のふいご祭』開催

砂鉄を投げ入れ、舞い散る火の粉

地域に伝わる家庭料理「じゃぶ汁」。来場者の体を温めました

かつてたたら職人や鍛冶屋など、ふいごを使って鉄の製造に携わっていた人たちが、旧暦の11月8日に、無病息災を願って行っていた「ふいご祭」。その復活を目指しながら、地域の人にたたら製鉄を親しんでもらい、奥日野たたらの振興、そしてまちの振興にもつなげていこうと、11月3日、役場駐車場で「復活！平成のふいご祭」が開かれました。

会場では、伯耆国たたら顕彰会（佐々木幸人会長）が用意したミニたたらで砂鉄投入を体験。希望者は、燃えさかる炉の中に、砂鉄を約200㌘ずつ、約6時間かけて投入していきました。

ミニたたら操業中には、野菜や陶芸品などを販売する物産市、伯耆江美寿会（米子市）による民謡やオリジナルソング「カナクソの唄」が披露されたほか、奥日野「じゃぶ汁」味自慢大試食会などが同時開催され、多くの人でにぎわいました。

6時間後、炉が解体され、来場者が見守る中、約6・6㌔の鉄が取り出されると「大きい、すごい」「やった」などの歓声が上がっていました。

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～　第16回

### 「かわいい」

日野弁では、「かわいそうなことをした」の意味で、「かわいいことをした」と言います。

相反する意味の言葉のように思えますが、実は「かわいい」は、もともと「不憫な」「気の毒な」という意味の言葉でした。それが、やがて「不憫だから何とかしてあげたいほど愛おしい」との意味に変わっていったようです。

そんないにしえの表現が今でも日常会話に登場する、方言の奥深さを感じる言葉です。

日野弁ピックアップ**「か」**

**がいな**…大きな。大規模な。
**かぐる**…ひっかく。爪で傷つける。
**かす**…米を炊く前に水にひたす。
**かずむ**…嗅ぐ。　**かねこおり**…つらら。
**かばち**…文句。屁理屈。
**かまう**…からかう。ちょっかいを出す。
**かわこ**…河童。　**からと**…水門。
**がんじょうする**…頑張る。一生懸命する。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会

## 昔の写真・資料収集にご協力をお願いします。

町では、今後刊行予定の「日野町史（仮）」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。

根雨小学校旧校舎（現在の役場付近）

**①日野町および旧町村に関する写真**（明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など）
**②日野町および旧町村に関する資料**（行政の刊行物、書籍、商店チラシ、映像記録など）
**③その他の歴史的資料**

**※これらの資料をお持ちの方は、左記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用する予定です。**

**■連絡先　日野町役場 企画政策課（電話72 - 0332）**